

むつ市が生んだ彫刻家

古藤正雄生誕110年記念講演会



昭和6年院展入選作品「摘草」
講演会場で展示



昭和24年院展入選作品「湯女」
講演会場で展示



昭和60年「石楠花」
下北文化会館で展示中

古藤正雄の略歴

明治40年(1907)、むつ市大湊浜町で2男5女の長男として出生

大正11年、青森市の三浦甘精堂に奉公し、ここで生涯の友となる棟方志功と知り合う。

大正15年棟方志功、松木満史を頼って上京し、彫刻家としての道を歩み始める。

昭和6年、日本美術院展覧会(院展)で婦人像「摘草」が入選し、日本美術院研究所で彫刻をまなぶ。

昭和19年、戦災により郷里の大湊に疎開する。以後、郷里で創作活動に専念する。

昭和24年、院展に出品した「湯女」が入選、白寿賞を受賞し日本美術院の同人(役員)に推挙される。この作品が日本美術院長の横山大観に認められて、以後横山大観との子弟の関係を築く。

昭和36年、日本美術院彫塑部が解散、以後、中央の美術団体に所属せず、創作活動に専念する。

昭和39年、恐山釜臥菩提寺に「釈迦尊像」を、昭和60年に「石楠花」を下北文化会館に納め、翌、

昭和61年(1986)10月3日79歳で逝去

講演会では講師の古藤多彦氏が収蔵する古藤正雄の作品や資料の数々を展示します。

- 日時
1月28日(日) 13:30~15:30(開場13:00)
- 会場
むつグランドホテル 別館ホール
- 演題
「彫刻家古藤正雄の軌跡」と思いで(仮題)
- 講師
 - 古藤正雄のご長男
古藤多彦氏
 - 古藤正雄の終生の支援者
佐藤義榮氏

入場
無料



昭和27年院展入選作品「淵」
講演会場隣接ギャラリーで展示

主催 認定特定非営利活動法人 斗南どんどこ健康村

問い合わせ先 ☎ (0175)22-4208 事務局